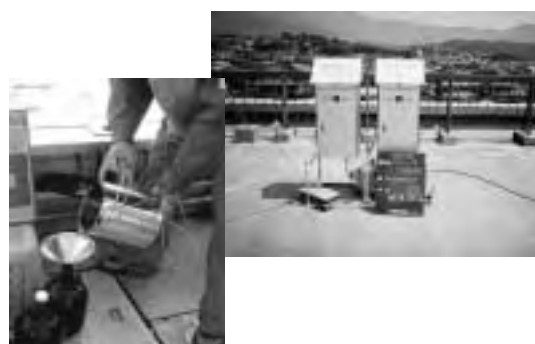


参考事項

○ ダイオキシン類調査の結果

- 1 常時監視等環境調査の結果 47
- 2 水道水の調査 57



○ もっと知りたいときには

- 1 関連情報のリンク集 58
- 2 「かながわ環境出前講座」について 61

○ ダイオキシン類調査の結果

1 常時監視等環境調査の結果

県では、ダイオキシン法に基づき、県所管域の汚染の状況を把握するため常時監視等環境調査を行っています。

常時監視として、平成 12 年度以降大気については主に一般環境大気測定局で、水質と底質については主に環境基準点で調査を実施しています。また、土壌と地下水については、平成 12～14 年度の3年間で県所管域を網羅的に調査し、平成 15～17 年度の3年間で県所管域の廃棄物焼却施設等の発生源周辺において調査を実施しました。

これらに加えて大気、水質及び底質について、県所管域のより詳細な実態把握のため環境実態調査として、常時監視地点を補完する地点で、平成 12～14 年度、平成 15～17 年度のそれぞれ3年間で県所管域を網羅するよう、調査地域を変えながら調査を実施してきました。

平成 18 年度から 20 年度は、新たな 3 年計画を作成し、環境調査を継続しています。平成 19 年度の調査結果は次のとおりであり、大気や水質等、すべての地点で環境基準に適合していました。

<ダイオキシン類の環境基準>

耐用一日摂取量を基本に、「人の健康を保護する上で維持されることが望ましい基準」として、大気や水質、土壌等についてダイオキシン類の環境基準が定められています。国や県等の行政機関は、この環境基準を達成することを目標に、発生源対策や環境汚染状況の調査測定等を進めることになっています。

耐用一日摂取量
(TDI)

4 pg-TEQ/kg/日

環境基準

大気：0.6 pg-TEQ/m³以下
水質：1 pg-TEQ/L以下
底質：150 pg-TEQ/g以下
土壌：1,000 pg-TEQ/g 以下

ダイオキシン類の環境基準

(1) 大気調査

■ 県が実施した調査結果(県所管域)

県所管域 19 地点で年 4 回調査を行ったところ、全ての地点で環境基準（年平均で 0.6pg-TEQ/m³）に適合していました。

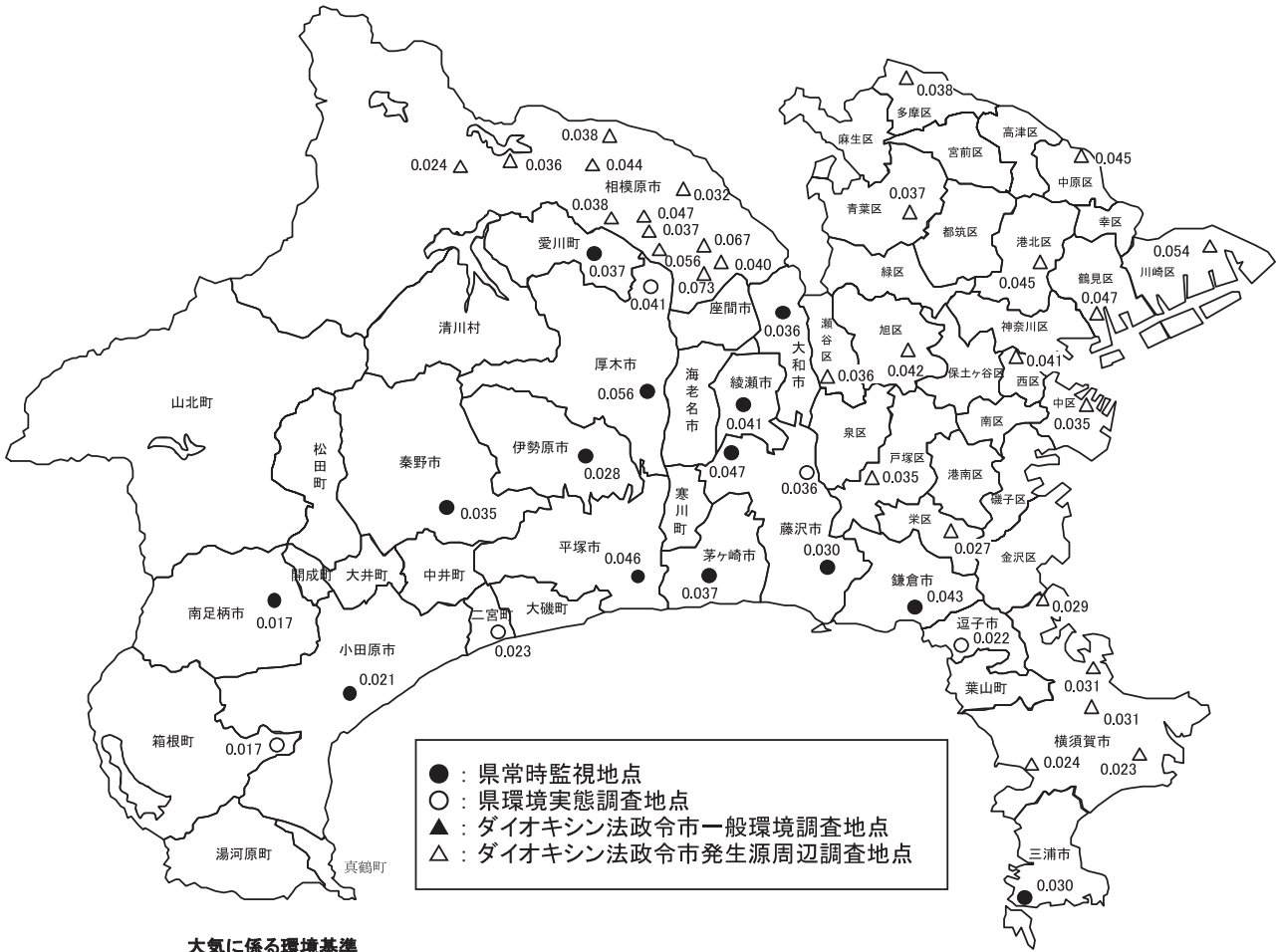
平成 19 年度大気調査結果（年 4 回測定の平均値）

(単位：pg-TEQ/m³)

		地点数	平均 (最低～最高)	環境基準超過地点数	備考
県	常時監視	14	0.036 (0.017～0.056)	なし	
	環境実態調査	5	0.028 (0.017～0.041)	なし	
全国の調査結果		740	0.041 (0.0042～0.58)	なし	平成 19 年度の全調査地点のうち年 2 回以上調査した地点
県の過去の調査結果		294	0.022～3.3 ^{注)}		平成元～18 年度

注) 平成元～11 年度は Co-PCB を含みません。

■ 政令市を含めた県内全域での調査結果(平成19年度 年平均値)



大気に係る環境基準

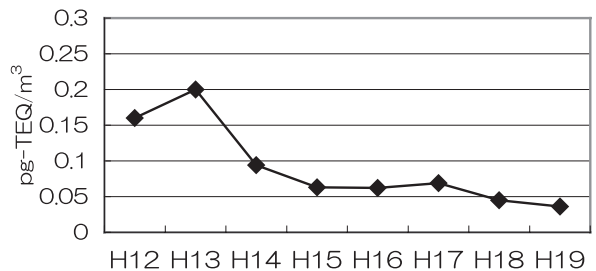
	環境基準	単位
大気	0.6	pg-TEQ/m ³

■ 参考資料

政令市以外の市町村が実施した調査結果

単位：pg-TEQ/m³

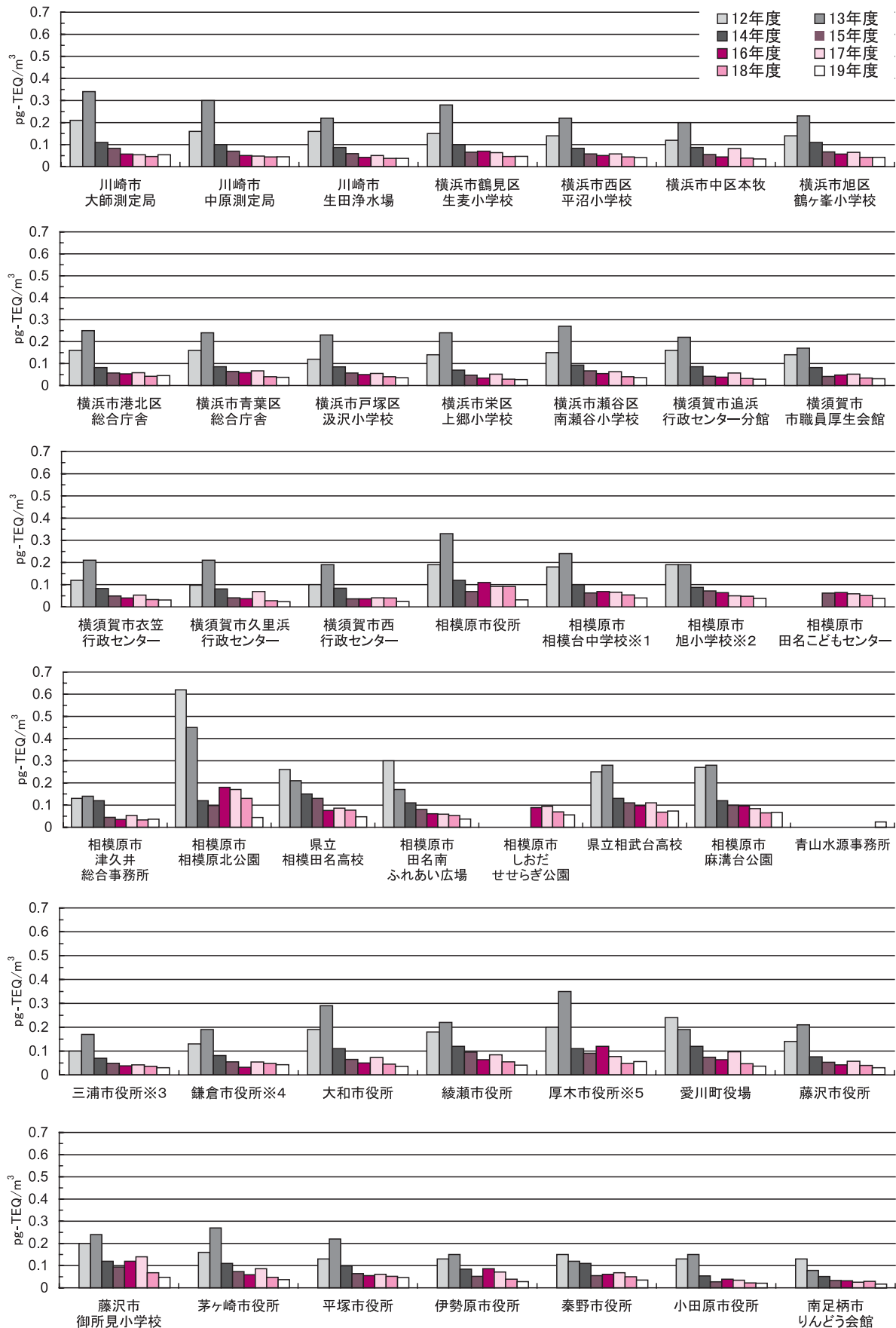
実施者	調査地点	年平均
平塚市	1 平塚市立神田小学校	0.044
	2 平塚市立岡崎小学校	0.036
小田原市	1 小田原市消防本部	0.029
茅ヶ崎市	1 コミュニティセンター湘南	0.039
大和市	1 桜丘学習センター	0.035
海老名市	1 柏ヶ谷コミュニティセンター	0.013
	2 大谷コミュニティセンター	0.011
	3 上今泉コミュニティセンター	0.013
	4 社家コミュニティセンター	0.0087
	5 下今泉コミュニティセンター	0.011
	6 本郷コミュニティセンター	0.013
座間市	1 東地区文化センター	0.047
	2 四ツ谷配水管理所	0.039
	3 座間市消防署 北分署	0.036
南足柄市	1 南足柄市清掃工場	0.027
	2 福沢小学校屋上	0.030
	3 沼田消防団詰所横防災倉庫上	0.022



大気中のダイオキシン類濃度の推移
(県域常時監視地点の平均値)

実施者	調査地点	年平均
綾瀬市	1 鶴島会館	0.12
寒川町	1 寒川町役場	0.034
大磯町	1 石神台西公園	0.043
	2 虫窪スポーツ広場	0.023
	3 虫窪下田地区	0.048

大気常時監視地点調査結果の経年変化（県及び政令市 平成12～19年度）



※1 平成15年度のみ相模台こどもセンター ※2 平成14年度のみ相模原市北消防署本署 ※3 平成12～13年度は三崎中学校
 ※4 平成16～17年度は鎌倉生涯学習センター ※5 平成15～16年度は厚木市総合福祉センター

(2) 公共用水域水質調査

■ 県が実施した調査結果(県所管域)

公共用水域の水質について、全ての地点で環境基準（年平均で1 pg-TEQ/L）に適合していました。

平成19年度水質調査結果（年1回測定）

（単位：pg-TEQ/L）

		地点数	平均（最低～最高）	環境基準超過地点数	備考
県	河川	28	0.081（0.049～0.31）	なし	11～12月の濁水期に採取
	湖沼	2	0.052（0.051～0.053）	なし	
	海域	2	0.052（0.048～0.055）	なし	
全国	公共用水域	1,818	0.21（0.0097～3.0）	45	平成19年度
県の過去の調査結果		353	ND～0.97 ^{注)}		平成元～18年度

注) 平成元～11年度はCo-PCBを含みません。

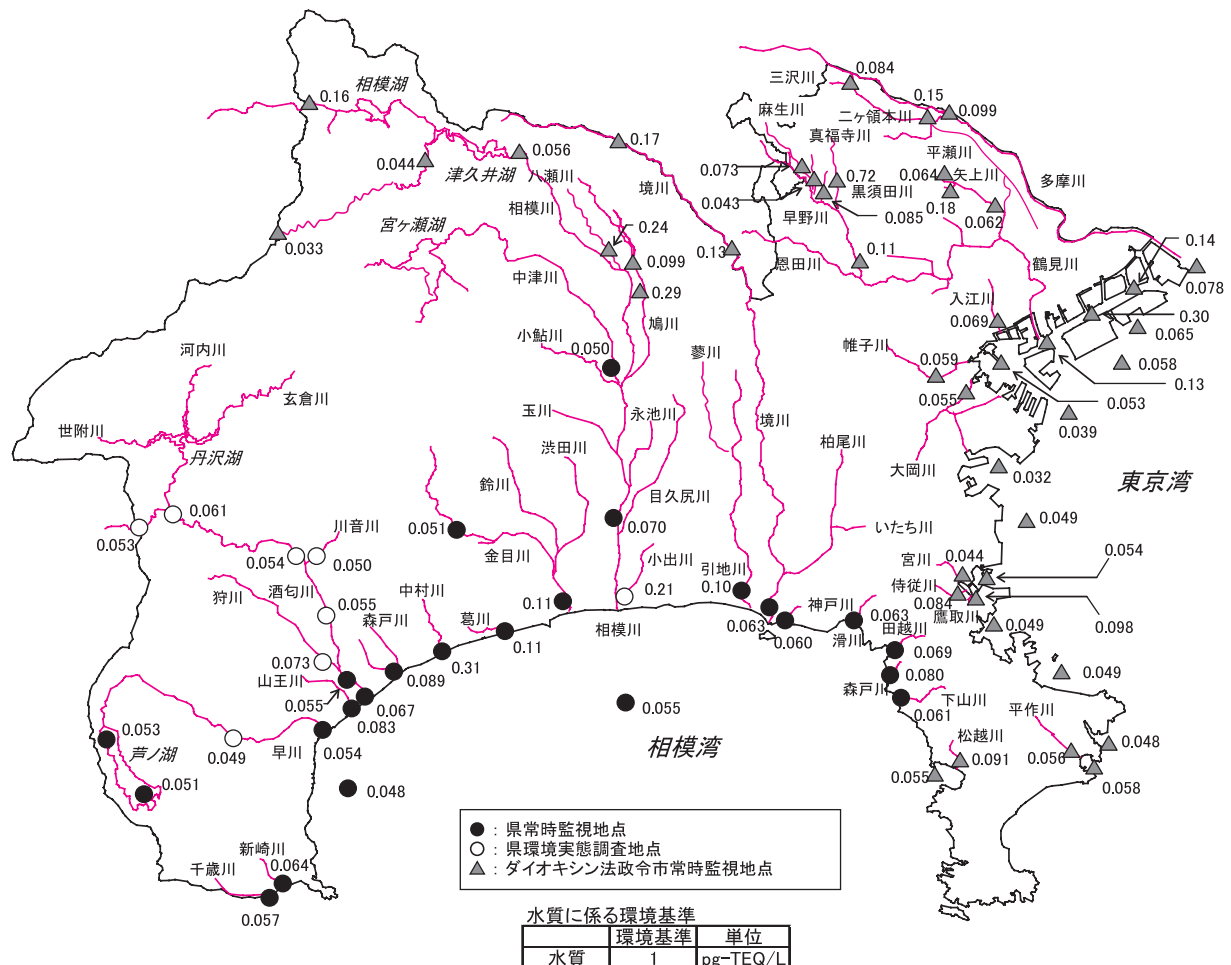
[参考] 平成元年度からの調査結果（各数値は調査結果の平均値）

（単位：pg-TEQ/L）

年度	元年～7年	8年	9年	10年	11年	12年	13年	14年	15年	16年	17年	18年
河川	ND	ND	ND	0.29	0.16	0.29	0.19	0.11	0.10	0.10	0.14	0.071
湖沼	ND	—	—	0.11	—	0.13	0.11	0.059	0.058	0.073	0.067	0.16
海域	ND	—	—	—	0.17	0.089	0.070	0.047	0.041	0.026	0.057	0.026

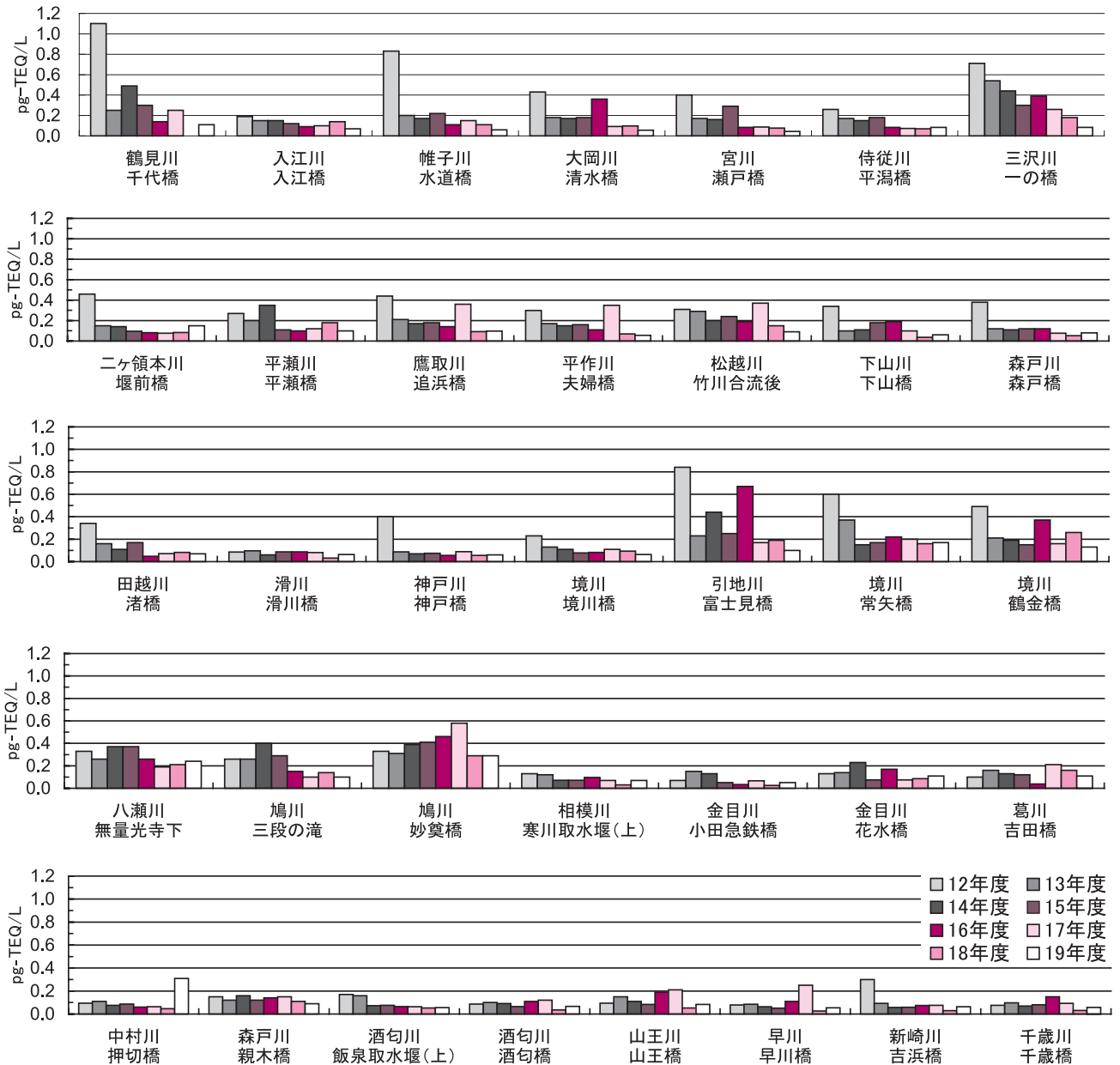
注) 「ND」は、低濃度のため検出されなかったものであり、平成9年度まで検出されていませんでしたが、10年度以降は、分析機器の精度の向上により、低濃度のダイオキシン類を検出できるようになりました。

■ 政令市を含めた県内全域での調査結果(平成19年度)



参考資料

河川水質常時監視地点調査結果の経年変化（県及び政令市 平成12～19年度）



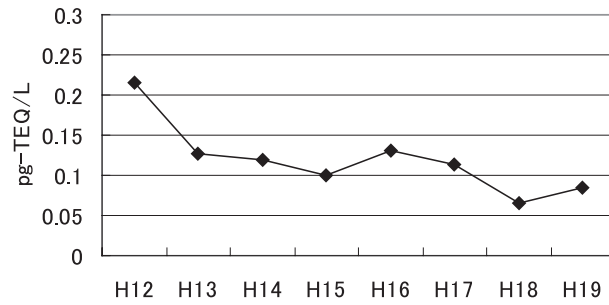
政令市以外の市町村が実施した調査結果

単位：pg-TEQ/L

実施者	河川名等	調査地点名	水質 年平均値
藤沢市	1	引地川 富士見橋	0.15
	2	引地川 稲荷雨水幹線(排出口)	0.088
	3	大山橋	0.14
	4	不動川 不動川橋	0.080
	5	小糸川 根下橋	0.93
	6	小糸川 永山橋	0.27
	7	蓼川(引地川) 境橋	0.15
	8	桐原橋	0.10
	9	一色川 一色下橋下流(排出口)	0.34
	10	稲荷山橋	0.31
	11	高鎌橋	0.058
	12	境川 大道橋	0.059
	13	境川 境川橋	0.060
	14	柏尾川 川名橋	0.092
	15	白旗川 陣屋橋	0.060
	16	滝川 船玉橋	0.054
	17	小出川 追出橋	0.28
	18	目久尻川 道庵橋	0.12
	19	目久尻川 久保田橋	0.19

実施者	河川名等	調査地点名	水質 年平均値
茅ヶ崎市	1	小出川 下町屋橋	0.52
	2	千ノ川 古相模橋	0.60
	3	駒寄川 北陵橋	0.20
厚木市	1	中津川 松羅公園北側	0.054
	2	荻野川 権現堂橋	0.059
	3	恩曾川 高坪堰	0.097
	4	細田川 玉川合流前	0.052
	5	善明川 長坂境橋	0.061
南足柄市	1	内川 清掃工場裏	0.054
	2	貝沢川 狩川合流付近	0.10
	3	狩川 岩原橋付近	0.057
	4	分沢川 小田原市境	0.051
綾瀬市	1	蓼川 境橋	0.44
	2	蓼川 綾南公園ふれあい橋	0.32
	3	目久尻川 用田橋	0.20
寒川町	1	目久尻川 宮山橋	0.66
	2	小出川 大曲橋	0.22
	3	一之宮第二排水路 弥生橋	0.35

河川水質中のダイオキシン類濃度の推移（県域常時監視地点の平均値）



(3) 底質調査

■ 県が実施した調査結果（県所管域）

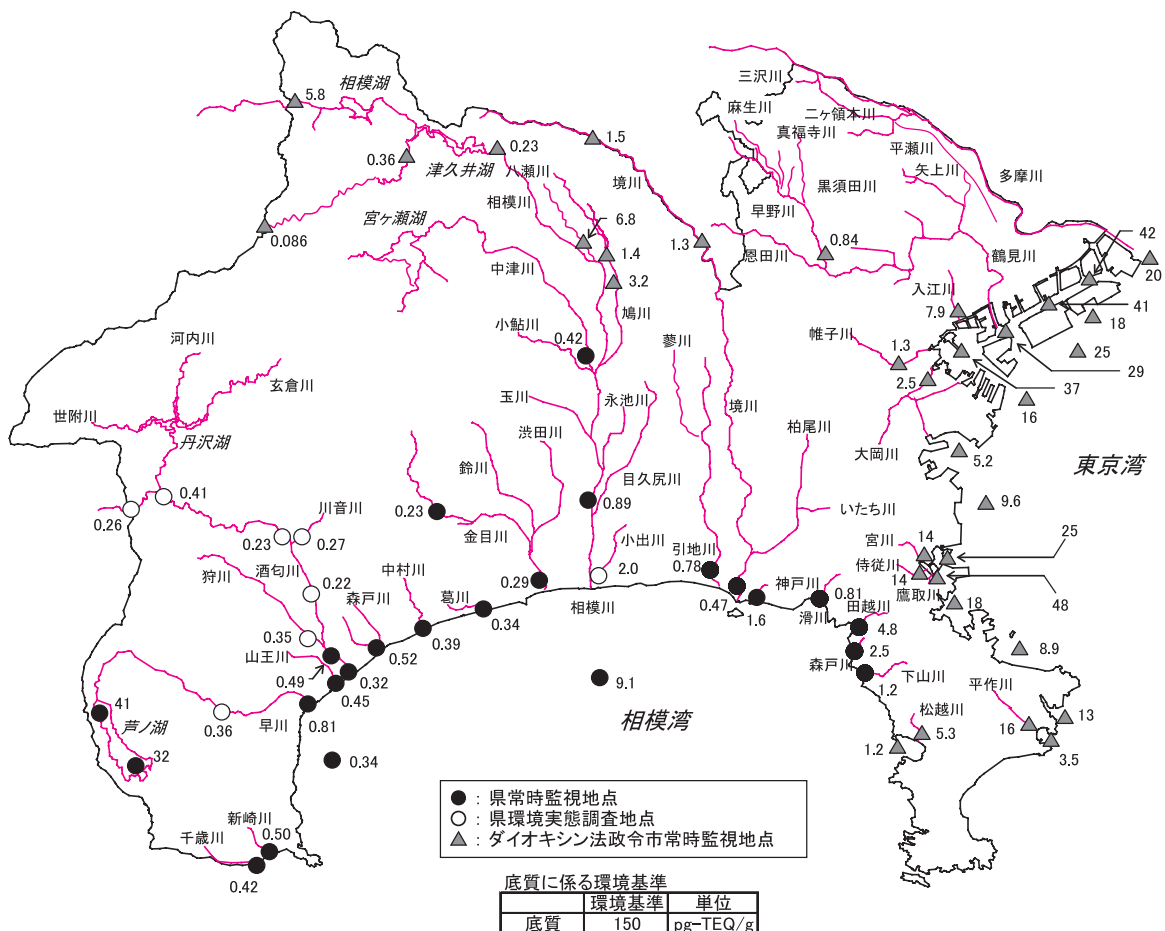
全ての地点で環境基準（150pg-TEQ/g）に適合していました。

平成19年度底質調査結果（年1回測定）

（単位：pg-TEQ/g）

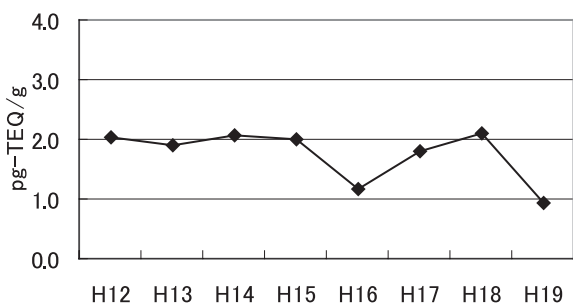
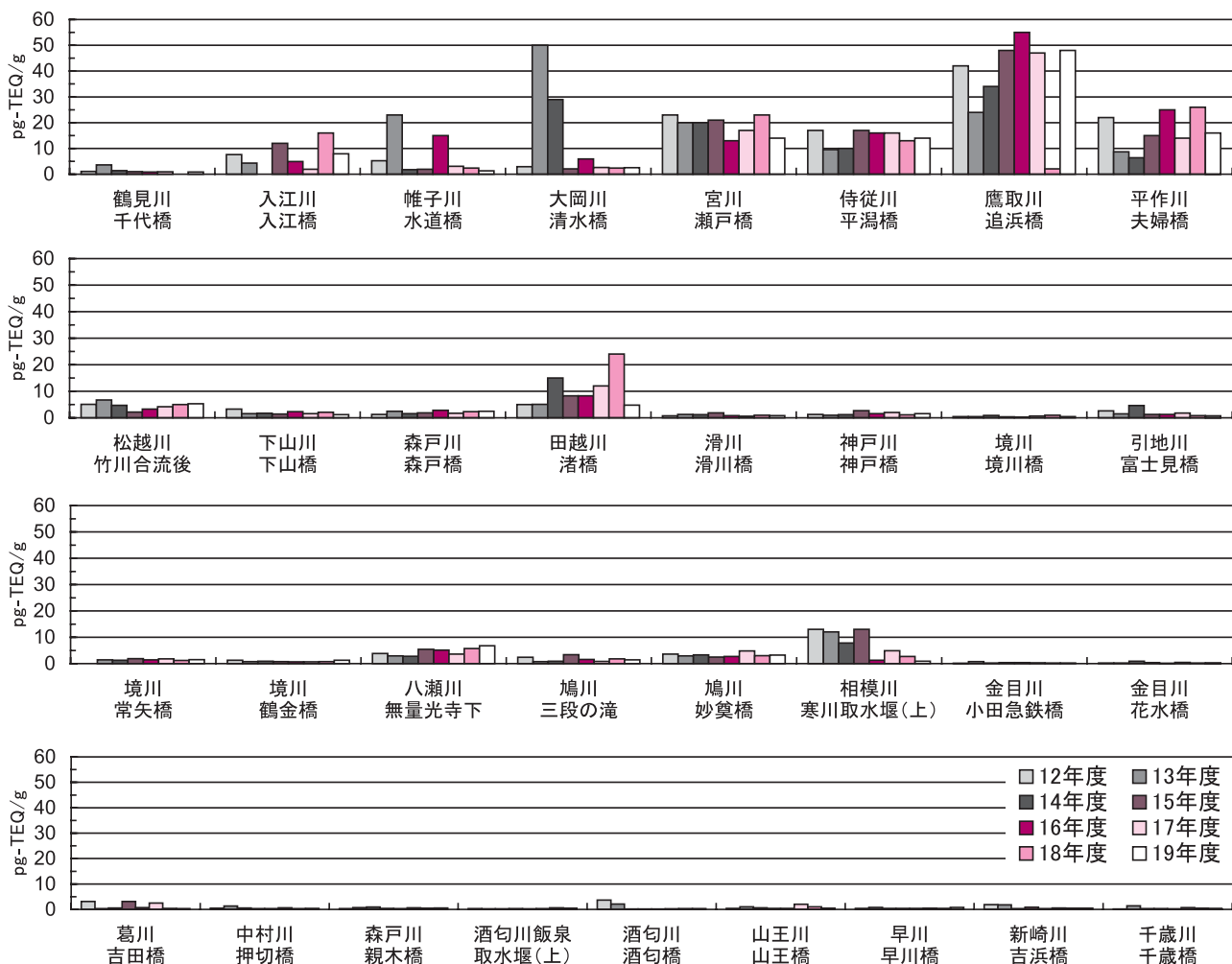
		地点数	平均（最低～最高）	環境基準超過地点数	備考
県	河川	28	0.80 (0.22～4.8)	なし	11～12月に採取
	湖沼	2	37 (32～41)	なし	
	海域	2	4.7 (0.34～9.1)	なし	8月に採取
全国の調査結果		1,505	7.4 (0.044～290)	8	平成19年度公共用水域

■ 政令市を含めた県内全域での調査結果（平成19年度）



参考資料

河川底質常時監視地点調査結果の経年変化（県及び政令市 平成12～19年度）



河川底質中のダイオキシン類濃度の推移
(県域常時監視地点の平均値)

政令市以外の市町村が実施した調査結果

単位：pg-TEQ/g

実施者	河川名等	調査地点名	底質年平均値	
藤沢市	1	引地川	富士見橋	0.66
	2		大山橋	6.5
	3	境川	大道橋	0.80
	4		境川橋	1.1
	5	柏尾川	川名橋	0.72
南足柄市	1	内川	清掃工場裏	0.26
	2	貝沢川	狩川合流付近	0.87
	3	狩川	岩原橋付近	0.28
	4	分沢川	小田原市境	2.8
寒川町	1	目久尻川	宮山橋	0.80
	2	小出川	大曲橋	5.8
	3	一之宮第二排水路	弥生橋	12

(4) 土壌調査

■ 県が実施した調査結果(県所管域)

平成 19 年度は、湘南～三浦地域の 15 地点において実施しました。全ての地点で環境基準 (1,000pg-TEQ/g) に適合したほか、ダイオキシン法で追加的な調査が必要とされる基準 (250pg-TEQ/g) も下回りました。

平成 19 年度土壌調査結果

(単位: pg-TEQ/g)

	地点数	平均 (最低～最高)	環境基準超過地点数	備 考
県の常時監視	15	3.6 (0.071～18)	なし	10月に採取
全国の調査結果	1,285	3.1 (0～170)	なし	平成19年度一般環境及び発生源周辺
県の過去の調査結果	474	0.0016～110 ^{注1)}		平成10～18年度 ^{注2)}

注1) 平成10～11年度はCo-PCBを含みません。

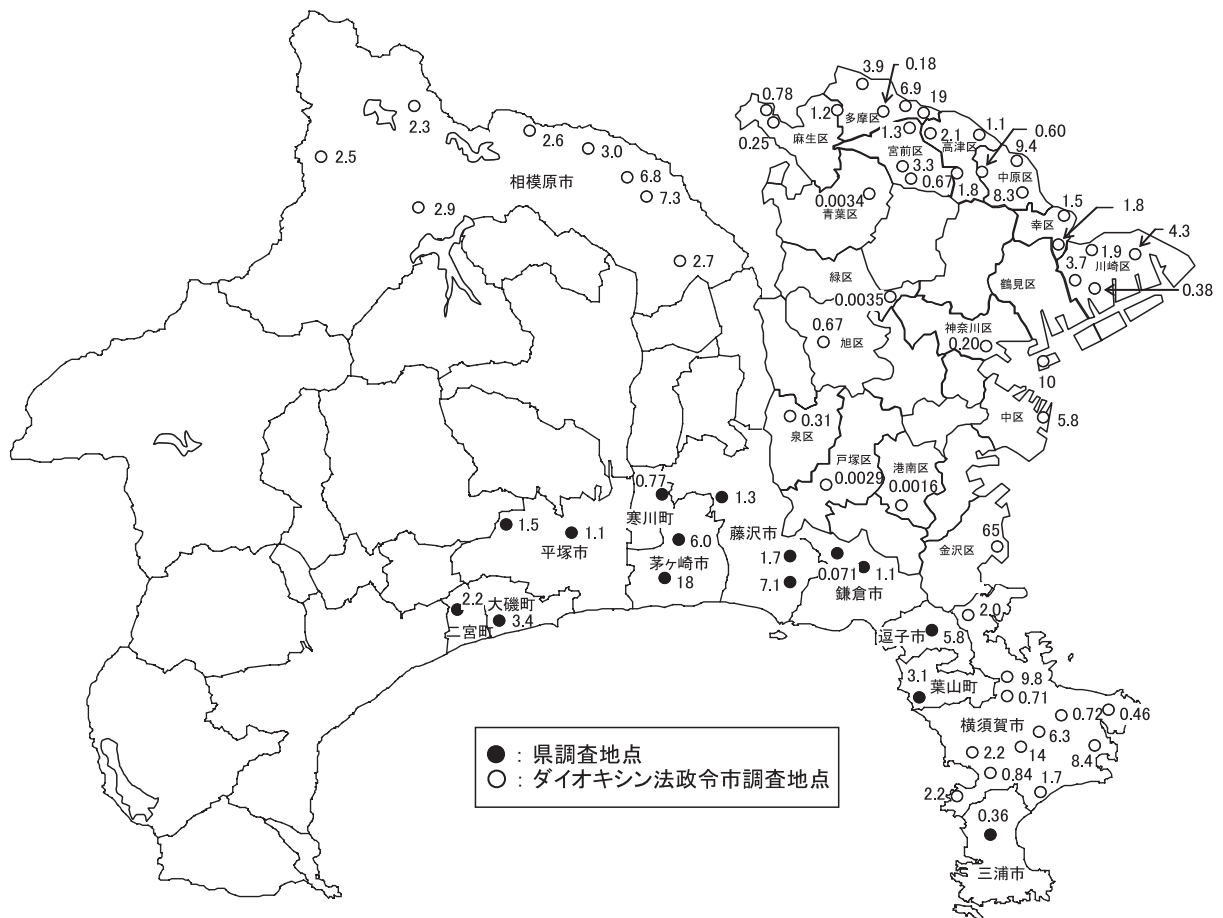
注2) 平成10～14年度及び平成18年度は一般環境把握調査、平成15～17年度は発生源周辺調査を実施しました。

[参考] 平成 10 年度からの調査結果

(単位: pg-TEQ/g)

年 度	10年	11年	12年	13年	14年	15年	16年	17年	18年
調査結果	0.087 ～ 8.6	0.037 ～ 5.5	0.0016 ～ 34	0.025 ～ 32	0.030 ～ 110	0.028 ～ 29	0.0016 ～ 56	0.051 ～ 36	0.11 ～ 28

■ 政令市を含めた県内全域での調査結果(平成19年度)



■ 参考資料

政令市以外の市町村が実施した調査結果

単位: pg-TEQ/g

実施者	地点数	調査結果
茅ヶ崎市	1	2.6
海老名市	2	0.91 ~ 1.6
座間市	3	2.2 ~ 9.7

実施者	地点数	調査結果
南足柄市	4	1.3 ~ 12
寒川町	5	0.011 ~ 1.9
大磯町	3	3.0 ~ 32

(5) 地下水調査

■ 県が実施した調査結果(県所管域)

平成 19年度は、湘南～三浦地域の8地点において実施したところ、全ての地点で環境基準（1 pg-TEQ/L）に適合していました。

平成 19年度地下水調査結果

(単位：pg-TEQ/L)

	地点数	平均(最低～最高)	環境基準超過地点数	備考
県の常時監視	8	0.036 (0.015～0.082)	なし	10月に採取
全国の調査結果	759	0.055 (0.0076～2.4)	2	平成19年度
県の過去の調査結果	154	0.017～2.0 ^{注)}		平成12～18年度

注) 平成14年度に相模原市内の地下水1地点で環境基準を超過しました。

[参考] 平成 12年度からの調査結果

(単位：pg-TEQ/L)

年 度	12年	13年	14年	15年	16年	17年	18年
調査結果	0.048 ～ 0.44	0.048 ～ 0.16	0.037 ～ 2.0	0.041 ～ 0.061	0.065 ～ 0.098	0.017 ～ 0.022	0.022 ～ 0.023

■ 政令市を含めた県内全域での調査結果(平成19年度)



■ 参考資料

政令市以外の市町村が実施した調査結果

単位：pg-TEQ/L

実施者	地点数	調査結果
座間市	3	0.065 ～ 0.098
大磯町	1	0.049

(6) 水生生物調査

平成19年度は、県所管域の河川3地点（目久尻川、小出川、相模川）及び湖沼1地点（芦ノ湖）で魚類について調査しました。水生生物には環境基準が定められていませんが、環境庁（現、環境省）が全国で実施した「平成11年度公共用水域等のダイオキシン類調査結果」のそれぞれの生物種における全国調査結果の範囲内でした。

平成19年度水生生物調査結果

(単位：pg-TEQ/g-wet)

	地点数	平均（最低～最高）	備考
県の環境実態調査	4	0.97（0.73～1.5）	9～10月に採取
全国の調査結果	2,832	1.4（0.032～33）	平成11年度
県の過去の調査結果	74	0.20～16 ^{注）}	平成元～18年度

注）平成11年度以前はCo-PCBを含まないものもあります。

[参考] 平成元年度からの調査結果（各数値は調査結果の平均値）

(単位：pg - TEQ/g)

年度	元年	2年	3年	4年	5年	6年	7年	8年	9年
平均値	3.4	0.77	0.37	0.58	0.37	0.52	0.54	0.20	0.55
検体数	2	3	3	4	6	6	5	3	4
年度	10年	11年	12年	13年	14年	15年	16年	17年	18年
平均値	2.6	1.8	3.8	4.1	0.74	1.7	2.9	2.7	0.70
検体数	1	2	5	5	5	5	6	6	3



(7) 重点監視調査

平成12年度から16年度に実施した水質の常時監視調査及び環境実態調査において、環境基準値の1/2を超過するダイオキシン類が検出された地点については、平成18年度から年間の測定回数を4回に増やし、季節変動や汚染の兆候を把握するため、監視調査を実施しています。

平成19年度重点監視調査結果

(単位：水質；pg - TEQ/L，底質；pg - TEQ/g)

河川名	調査地点	H19					
		春季	夏季	秋季	冬季	年平均	
相模川 (目久尻川)	河原橋	水質	0.43	0.70	0.23	0.13	0.37
		底質	--	1.4	--	--	1.4
相模川 (小出川)	宮の下橋	水質	0.78	0.27	0.21 ^{注)}	0.39	0.41
		底質	--	--	2.0 ^{注)}	--	2.0
引地川	石川橋	水質	0.55	0.29	0.10	0.12	0.27
		底質	--	0.99	--	--	0.99
引地川	富士見橋	水質	0.82	0.28	0.10 ^{注)}	0.13	0.33
		底質	--	--	0.78 ^{注)}	--	0.78

注) 宮の下橋及び富士見橋の秋季調査は常時監視調査の結果を掲載

[参考] 平成 12 年度からの調査結果

(単位：水質：pg - TEQ/L, 底質：pg - TEQ/g)

河川名	調査地点		H12	H13	H14	H15	H16	H17	H18
			年平均	年平均	年平均	年平均	年平均	年平均	年平均
相模川 (目久尻川)	河原橋	水質	--	0.77	--	0.60	--	--	0.49
		底質	--	2.9	--	1.1	--	--	1.0
相模川 (小出川)	宮の下橋	水質	--	0.56	--	--	--	0.14	0.68
		底質	--	2.5	--	--	--	3.3	1.9
引地川	石川橋	水質	0.97	--	--	--	--	0.41	0.30
		底質	1.3	--	--	--	--	1.3	0.90
引地川	富士見橋	水質	0.84	0.23	0.44	0.25	0.67	0.17	0.37
		底質	2.6	1.5	4.6	1.3	1.3	1.8	0.79

(8) 今後の環境調査について

県では、ダイオキシン類の環境調査を3か年計画で実施しており、平成15年度から平成17年度までの調査では、環境基準値を超過した地点はありませんでした。

しかし、ダイオキシン類については依然として県民の関心が高いことから、平成18年度からも新たな3か年計画を作成し、環境調査を継続しています。平成20年度もこの計画により、調査を実施しております。

2 水道水の調査

水道水中に含まれるダイオキシン類の実態調査を行っています。水道水には、目標値（暫定）として1pg-TEQ/Lが定められています。原水（浄水場できれいにする前の河川水）、浄水（水道水として浄水場から送り出す水）の調査結果は、共に目標値（暫定）を満足していました。

平成20年度も継続して調査を実施しています。



平成19年度原水及び浄水検査結果

単位：pg-TEQ/L

実施者	河川名	調査地点	水質（原水）				水質（浄水）			
			5月	8月	11月	2月	5月	8月	11月	2月
相模川・ 酒匂川水 質協議会	相模川	津久井分水池	—	0.078	—	0.035	—	—	—	—
		社家地点	—	0.12	—	0.025	—	—	—	—
		寒川地点	—	0.19	—	0.028	—	—	—	—
	酒匂川	飯泉地点	—	0.16	—	0.13	—	—	—	—
企業庁	相模川	津久井分水池	0.041	—	0.020	—	—	—	—	—
		寒川地点	0.22	—	0.010	—	—	—	—	—
		谷ヶ原浄水場	—	—	—	—	0.00069	0.00070	0.0021	0.0023
		寒川浄水場	—	—	—	—	0.0036	0.0037	0.0027	0.0015

(参考) 全国調査の状況：原水 (0.0070~0.99)、浄水 (0.00056~0.035) 【厚生省、平成11年度】

○ もっと知りたいときには

1 関連情報のリンク集

■ 化学物質に関する情報

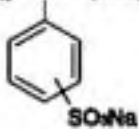
● 化学物質ファクトシート [環境省]

専門的で分かりにくい化学物質の情報を分かりやすく整理して、専門家以外の方にも理解できるようにまとめたものです。インターネット上で見るができるほか、冊子版もあります。平成 20 年 10 月に公表された 2007 年度版には、259 物質が収録されています。

<http://www.env.go.jp/chemi/communication/factsheet.html>

24. 直鎖アルキルベンゼンスルホン酸及びその塩

別 名 LA5
PRTR政令番号:1-24
C A S 番 号:31093-47-7(デシルベンゼンスルホン酸,C=10)
1322-98-1(デシルベンゼンスルホン酸ナトリウム,C=10)
27634-75-5(ウンデシルベンゼンスルホン酸ナトリウム,C=11)
25155-30-0(ドデシルベンゼンスルホン酸ナトリウム,C=12)
26248-24-8(トリデシルベンゼンスルホン酸ナトリウム,C=13)
28348-61-0(テトラデシルベンゼンスルホン酸ナトリウム,C=14) など

構 造 式:[直鎖アルキルベンゼンスルホン酸ナトリウム]
$$\text{CH}_3-(\text{CH}_2)_j-\text{CH}_2-\text{C}_6\text{H}_4-\text{SO}_3\text{Na}$$

j=7-11

・直鎖アルキルベンゼンスルホン酸及びその塩は、一般には LA5 として知られており、合成洗剤の主成分などとして使われています。

・2006 年度の PRTR データでは、環境中への排出量は約 12,000 トンでした。ほとんどが家庭から排出されたもので、ほとんどが河川や海などへ排出されました。

● 化学物質安全情報提供システム (kis-net) [神奈川県]

法律や条例などの規制がある物質について、化学物質を取り扱っている事業所において管理を適切に行うために必要な物性、毒性等の基礎的な情報を提供しています。4000 種以上の化学物質の情報が登録されていて、事業者の方以外にも幅広く利用されています。内容はやや専門的になっています。

<http://www.k-erc.pref.kanagawa.jp/kisnet/index.htm>

● 化学物質データベース (Webkis-plus) [独立行政法人 国立環境研究所]

化学物質安全情報提供システム (kis-net: 神奈川県) などの化学物質データベースに、いくつかのファイルを追加して作成した化学物質データベースです。

<http://w-chemdb.nies.go.jp/>

● 化学物質総合情報提供システム (CHRIP) [独立行政法人 製品評価技術基盤機構]

化学物質の安全管理の一環として構築しているデータベースです。

<http://www.safe.nite.go.jp/japan/db.html>

■ 化学物質に関する情報

● 集計結果の概要（PRTR インフォメーション広場）【環境省】

国が行った集計結果の概要を公表しています。

<http://www.env.go.jp/chemi/prtr/result/gaiyo.html>

● グラフでデータを見る（PRTR インフォメーション広場）【環境省】

PRTR 制度によって得られたデータを集計し、表やグラフで公表するサイトです。ホームページ上でグラフや地図を表示することができます。

<http://www.env.go.jp/chemi/prtr/result/gaiyo.html>

● 平成 18 年度神奈川県 PRTR データの概要【神奈川県】

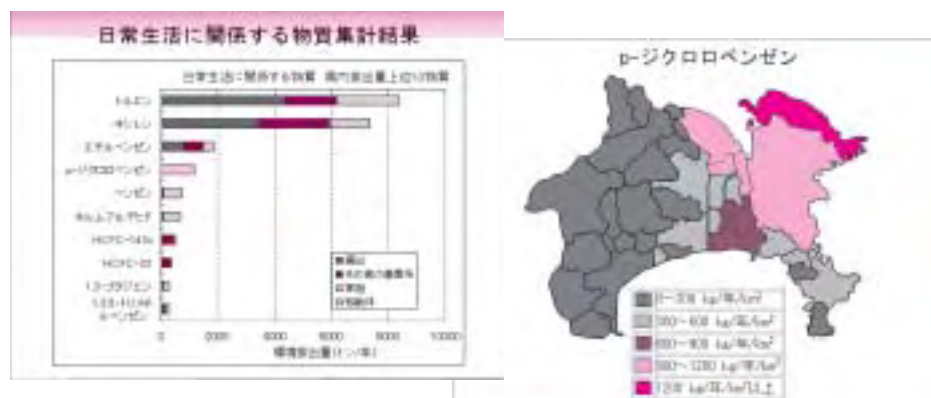
国が行った集計結果から、神奈川県の方を取りまとめ公表しています。

<http://www.pref.kanagawa.jp/osirase/taikisuisitu/kagaku/prtr/h18deta/index.html>

● かながわ PRTR 情報室【神奈川県】

県の環境科学センターでは、国が推計した神奈川県の届出外排出量を、家庭などの区分ごとに市町村別の推計を行っていて、届出外排出量を含めた市町村別の PRTR データを公表しています。また、排出量をグラフや地図で表示することができます。

<http://www.k-erc.pref.kanagawa.jp/prtr/>



● PRTR 制度【独立行政法人 製品評価技術基盤機構】

国の集計結果や届出排出量の過去との比較の結果などを公表しているほか、PRTR データから推定した大気中濃度や発生源分布を地図上で表示することができます。

<http://www.prtr.nite.go.jp/prtr/prtr.html>

● 使いやすい PRTR 情報【エコケミストリー研究会】

国が推計した都道府県別の届出外排出量を独自に市町村別に推計しているほか、化学物質の毒性を考慮した排出量データの提供を行っています。

<http://www.ecochemi.jp/PRTR.html>

● PRTR 検索【NPO 法人 有害化学物質削減ネットワーク】

個別事業所の届出データを調べることができます。

<http://www.toxwatch.net/>

■ ダイオキシン類に関する情報

● ダイオキシン類情報 [神奈川県]

ダイオキシン類についてのこれまでの環境調査の結果やパンフレット、ダイオキシン類対策特別措置法に基づく自主測定結果などを掲載しています。

http://www.pref.kanagawa.jp/osirase/taikisuisitu/kagaku/dxn/dxn_main.html

● 平成19年度食品からのダイオキシン類一日摂取量調査結果 [神奈川県]

神奈川県で平成 12 年度から独自に実施してきた、県民の平均的な食事を通じて摂取されるダイオキシン類の一日摂取量調査の結果を公表しています。

<http://www.pref.kanagawa.jp/osirase/seikatueisei/kanajin/topixdioxin.html>

● ダイオキシン類対策 [環境省]

国及び全国の地方公共団体が実施したダイオキシン類の環境調査の結果を公表しているほか、ダイオキシン法やその他関連法令、ダイオキシン類受注資格審査についてなど情報を提供しています。

<http://www.env.go.jp/chemi/dioxin/index.html>

● ダイオキシン法政令市の情報

政令市のダイオキシン類についてのこれまでの環境調査（大気、水質、底質及び土壌）の結果等を公表しています。

[横浜市]

<http://www.city.yokohama.jp/me/kankyuu/kaihatsu/kisei/kagaku/dioxyhormon.html>

[川崎市]

<http://www.city.kawasaki.jp/30/30kagaku/home/dxn/dioxintop.htm>

[横須賀市]

<http://www.city.yokosuka.kanagawa.jp/k-kanshi/O4.html>

[相模原市]

<http://homepage3.nifty.com/sagamihara/index.htm>

■ その他の情報

● かながわの環境 [神奈川県]

神奈川県が提供している県内の環境に関する総合情報ページです。県内の大気や水質の最新の状況を見ることができるとともに、環境に関するデータベースなどを提供しています。

<http://eco.pref.kanagawa.jp/>

2 「かながわ環境出前講座」について

県では、化学物質問題をはじめとする環境問題と、それに対する県の取組や施策などを広く県民のみなさんに紹介し、環境問題への理解と関心を深めていただくとともに、一人一人の行動に結びつくよう、「かながわ環境出前講座」を実施しています。

県内在住の方を含む5名以上のグループであれば、職員が出向いてお話しします。

かながわ環境出前講座

● 講座の内容

県の環境の現状とそれに対する取組のような総合的な話から、「化学物質」はもちろん、「地球温暖化」や「廃棄物」についての講座もあります。また、メニューにないテーマについても、お気軽に御相談ください。

※ メニューは、ホームページに掲載しています。

● 日時及び場所

- ・ 日時：原則として平日の9時から20時までのうち、1～2時間程度です

※ 土・日・祝日の場合も御相談に応じます。

- ・ 場所：原則として県内であればどこでも可能です。

※ 県の施設で行う講座もあります。

● 費用

無料です。ただし、会場費用などの諸費用については受講者側の負担となります。

● 申し込み方法

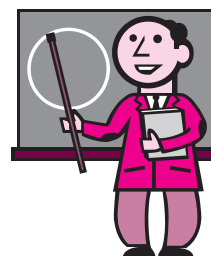
事前にお電話で、希望する講座、日時、場所などについて御相談の上、申込票を次の申込先へ、郵送またはファクシミリにてお送りください。

【申込み・問い合わせ先】

神奈川県環境農政部環境農政総務課

住 所：〒231-8588 横浜市中区日本大通1

電 話：045-210-4026 FAX：045-210-8844



【ホームページ】

<http://www.pref.kanagawa.jp/osirase/kankyonoseisomu/kannkyoudemaekouza/index.html>

地域のみなさんで化学物質対策に取り組もうとするときには、このパンフレットや環境出前講座を、是非活用してください。

■ 県の窓口

全般について／大気水質課	☎(045) 210-4107
廃棄物について／廃棄物対策課	☎(045) 210-4156
飲料水について／企業庁水道電気局水道施設課	☎(045) 210-7274
測定分析の技術について／環境科学センター	☎(0463) 24-3311
各種許認可について／	
横須賀・三浦地域県政総合センター環境部	☎(046) 823-0210
県央地域県政総合センター環境部	☎(046) 224-1111
湘南地域県政総合センター環境部	☎(0463) 22-2711
足柄上地域県政総合センター環境部	☎(0465) 83-5111
西湘地域県政総合センター環境部	☎(0465) 32-8000

■ 市町村の窓口

横浜市 環境創造局環境保全部環境管理課	☎(045) 671-2487
川崎市 環境局環境対策部企画指導課	☎(044) 200-2533
横須賀市 環境部環境管理課	☎(046) 822-4000
平塚市 環境部環境保全課	☎(0463) 21-9764
鎌倉市 環境部環境保全課	☎(0467) 61-3420
藤沢市 環境部環境保全課	☎(0466) 25-1111
小田原市 環境部環境保護課	☎(0465) 33-1483
茅ヶ崎市 環境部環境保全課	☎(0467) 82-1111
逗子市 市民協働部生活安全課	☎(046) 873-1111
相模原市 環境保全部環境保全課	☎(042) 769-8241


三浦市 環境部環境課	☎(046) 882-1111
秦野市 環境産業部環境保全課	☎(0463) 82-5111
厚木市 環境部生活環境課	☎(046) 225-2752
大和市 環境農政部生活環境保全課	☎(046) 260-5106
伊勢原市 経済環境部環境保全課	☎(0463) 94-4711
海老名市 経済環境部環境保全課	☎(046) 235-4912
座間市 環境経済部環境対策課	☎(046) 252-8214
南足柄市 市民部環境課	☎(0465) 74-2111
綾瀬市 環境市民部環境保全課	☎(0467) 70-5619
葉山町 生活環境部環境課	☎(046) 876-1111
寒川町 町民環境部環境課	☎(0467) 74-1111
大磯町 環境経済課	☎(0463) 61-4100
二宮町 環境部生活環境課	☎(0463) 71-3311
中井町 環境経済課	☎(0465) 81-1115
大井町 環境保全課	☎(0465) 85-5010
松田町 環境経済課	☎(0465) 83-1228
山北町 生活環境課	☎(0465) 75-3645
開成町 町民サービス部環境防災課	☎(0465) 83-2331
箱根町 環境整備部環境課	☎(0460) 85-9565
真鶴町 環境防災課	☎(0465) 68-1131
湯河原町 環境都市部環境課	☎(0465) 63-2111
愛川町 環境経済部環境課	☎(046) 285-2111
清川村 民生部税務住民課	☎(046) 288-3849



皆様からの御意見・御感想をお待ちしています！

今後とも、皆様からの御意見等を反映し、より分かりやすいパンフレットを作っていきたいと考えておりますので、御意見、御感想、また、御質問などがございましたら、ぜひお聞かせください。お手数ですが、ファクシミリまたはインターネットで次のあて先までお送りください。

送り先（大気水質課環境調整班）

 ファクシミリ：045 - 210 - 8846

 インターネット：<http://www.pref.kanagawa.jp/sosiki/kannou/0503/index.html>
※ このページから、「問い合わせフォーム」でお送りください。



神奈川県

環境農政部大気水質課 横浜市中区日本大通1 〒231-8588
電話 (045)210-4107 (直通) F A X (045)210-8846

